

X線撮影による胃がん検診を受けられない方

以下の①から⑳のいずれかに該当する方は、安全を考慮（こうりょ）して今回の検査を受けることができません。

- ①今までに食道、胃、十二指腸の手術をしたことがある方※胃の内視鏡治療（EMR、ESD）も含む（治療の傷跡が異常と判定され、それ以外には異常がなくても精密検査が必要となる場合が多いため、内視鏡検査などの定期的な経過観察をおすすめします）
- ②人工肛門を造設している方
- ③腎疾患（人工透析）や心疾患などで水分制限を受けている方
- ④酸素吸入をされている方
- ⑤過去のX線撮影による胃がん検査でアレルギー症状（1ページ目胃がん検診の注意点）があらわれた方
- ⑥過去のX線撮影による胃がん検査で誤嚥（ごえん：飲食物が気管に入ること）をされた方
- ⑦自分ひとりで立てない方や、手すりをつかむことができない方
- ⑧あお向けや腹ばいで寝ることができない方
- ⑨体重130kg以上の方（装置の耐荷重を越えてしまい安全を確保できないため）
- ⑩1年以内に下記消化器の手術をされた方（腹腔鏡下での手術を含みます）
※消化器のうち、小腸・盲腸・大腸・胆のう・膵臓・肝臓が対象です
- ⑪2か月以内に大腸ポリープを切除された方
- ⑫1年以内に脱腸、腸閉塞、腸捻転になった方
- ⑬1年以内に心疾患や脳血管疾患を発症（病気の症状があらわれる）した方
- ⑭胃腸の病気で治療中（服薬のみも含みます）の方、経過観察中の方（大腸憩室炎含む）
- ⑮【女性のみ】妊娠中および妊娠していると思われる方、不妊治療中の方
- ⑯検査直前の血圧が最高血圧180mmHgまたは最低血圧が110mmHg以上の方
（治療中の方は薬を検査2時間前までに、200ml以内の水または白湯で必ず服用してください）
- ⑰今朝まで72時間、排便のない方
- ⑱当日食事や喫煙をしたり、水または白湯以外の水分を飲んだ方
- ⑲当日体調が悪い方（寝不足・めまい・息苦しい・熱っぽい・頭痛・吐き気・腹痛・下痢など）
- ⑳当日糖尿病のお薬を飲んだり、インスリン注射をされた方

◆お申し込み前に主治医とご相談が必要な方◆

※⑯から⑳に該当した方は、**本日は検査できません。**

以下の項目に該当する方は、**事前**に受診して良いか主治医とご相談のうえ検診をお申し込みください。

- a 喘息、在宅酸素療法など呼吸器疾患で治療している方
- b 水分制限は受けていないが、慢性腎疾患や心疾患で治療中の方
- c 認知症と診断されている方
- d 上記記載の①から⑳以外で1年以内に手術をされた方
※消化器以外の腹部手術、頭部手術、胸部手術、帝王切開、骨折等の整形外科手術など

X線撮影による胃がん検診（バリウム検査）をおすすめしない方

以下の項目に該当する方は、内視鏡など他の方法による胃の検査をおすすめします。

- ・メニエール病などの強いめまいを伴う方→症状が増強する可能性があります。
- ・技師の指示に従ってスムーズに動くことが困難な方→正しい判定がつかない可能性があります。
- ・嚥下（飲みこむこと）障害（えんげしょうがい）がある方、むせやすい方→誤嚥（ごえん）により肺炎など合併症を起こす可能性があります。
- ・背中が曲がり、背筋を伸ばすことが難しい方→検査中の安全が確保できない可能性があります。

去年までは受けられたのに今年はどうして受けられないのですか？

新たな安全基準により、検査による危険性が考えられる場合には検査を受けることができません。

授乳中の方

- ・母乳に影響のない専用の下剤をお渡しいたしますので、お申し出ください。